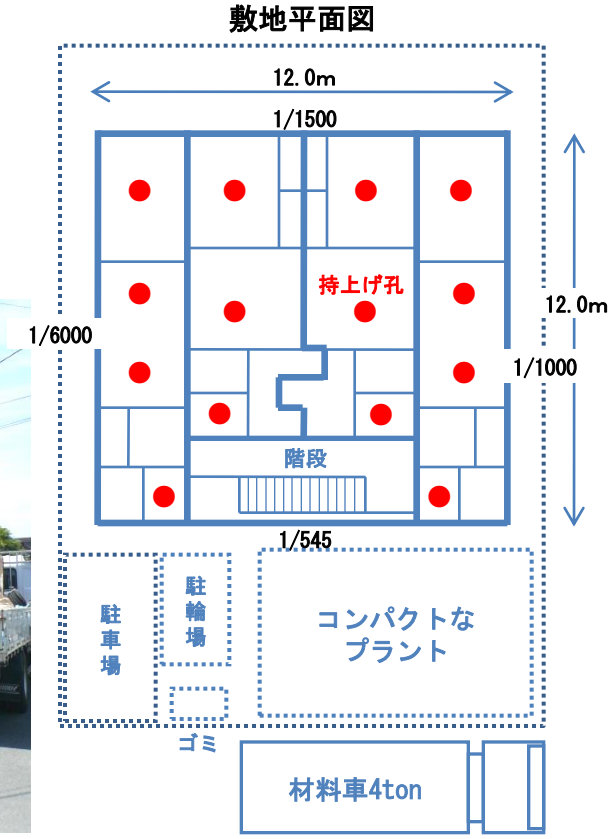
SANSHIN - TOPIC

Vol.002　（2011.7）

東北地方太平洋沖地震で被災した千葉県浦安市で
静的な締固めによる住宅の沈下修正が始まる

―　ＣＰＧリフト工法　―



　コンパクショングラウチング工法（略称：ＣＰＧ工法）は、低流動性のソイルモルタルを地盤中に圧入することにより、周辺地盤を圧縮強化する工法。
　一般工法名としては「静的圧入締固め工法」と呼ばれ、沈下修正または液状化対策を目的とした工法として利用される。

　１９８９年にアメリカから導入し、沈下した建物を修正（水平化）する工法として適用され、平屋からＲＣ６階建てのビルまで、幅広い建築物に対して適用される。

　施工目的により、以下の２つの名称で区分する。
　　ＣＰＧリフト工法　＝　沈下修正を目的としたコンパクショングラウチング工法の名称
　　ＣＰＧ工法　＝　液状化対策を目的としたコンパクショングラウチング工法の名称

三信建設工業株式会社

〒111-0052
東京都台東区柳橋2-19-6
ＴＥＬ　：03-5825-3704（営業本部）
ＦＡＸ　：03-5825-3756（営業本部）
ＵＲＬ　：http://www.sanshin-corp.co.jp/
E-mail　：sales@sanshin-corp.co.jp（営業本部）

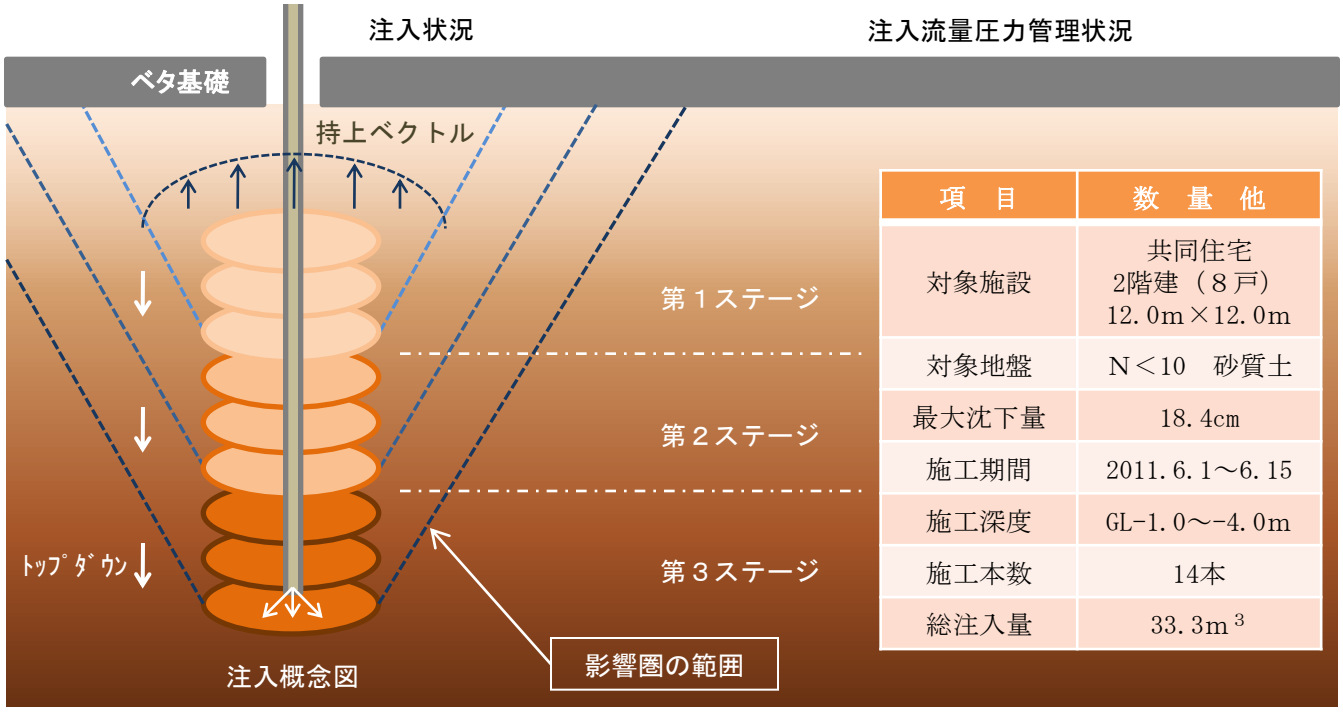
K.M

室内でも可能なコンパクトエアドリルによる削孔状況

コンパクト化した材料混練りプラント状況

注入状況

注入流量圧力管理状況



注入概念図

項　目	数　量　他
対象施設	共同住宅 2階建（８戸） 12.0m×12.0m
対象地盤	N＜10　砂質土
最大沈下量	18.4cm
施工期間	2011.6.1～6.15
施工深度	GL-1.0～-4.0m
施工本数	14本
総注入量	33.3m³

三信建設工業株式会社

〒111-0052
東京都台東区柳橋2-19-6
ＴＥＬ　：03-5825-3704（営業本部）
ＦＡＸ　：03-5825-3756（営業本部）
ＵＲＬ　：http://www.sanshin-corp.co.jp/
E-mail　：sales@sanshin-corp.co.jp（営業本部）